

Iwatani カセットガス アウトドアトーチバーナーⅡ

CASSETTE GAS OUTDOOR TORCH BURNER II
CB-TC-ODORP

屋外専用 一般家庭用

[取扱説明書]

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、記載内容に従って正しくご使用ください。そしてお使いになる方がいつでも本書を読むよう大切に保管してください。

本商品は、ご家庭で炭などに着火させるための用途で設計、製造されています。屋外専用仕様となっていますので、必ず屋外でご使用ください。業務用で過度に使用されたり、過酷な使い方をされますと器具の損傷やけが、火災など思わぬ事故のおそれがあります。

■使用上の注意

警告

容器（ボンベ）の着脱は必ず、周囲に火気や引火しやすいものない風通しのよい場所で行う
容器（ボンベ）着脱時には微量のガスが出る場合があります。引火の危険があります。

強い風のところで使用しない
強い風のところで使用すると、バーナーの炎が本体に巻き込まれ、事故、本体焼損の原因になります。

周囲に、容器（ボンベ）・ヘアスプレーなどの高温禁止物や布・紙類などの燃えやすいものがあるそばで使用しない
点火操作時、使用中は火口、火口付近が高温になり引火のおそれがあります。周囲の安全を十分確認のうえご使用ください。

容器（ボンベ）は取扱説明書に従い容器（ボンベ）を必ず立てた状態で正しく装着して使用する
装着が適切でない場合には、ガス漏れ、使用中の外れなどが起り、やけど、事故のおそれがあります。

火口付近や空気口にゴミ、異物を付着させたま使用しない
異常燃焼を起こし、事故の原因となり危険です。

点火操作時や使用中に火口をのぞき込んだり、顔や体に火口を向けたりしない
炎が身体にあたり非常に危険です。

点火直後に大きく傾けたり揺らしたりしない
炎が大きくなり危険です。

右記イラストのように火口を上下左右 45 度以上傾けて使用しない
炎が大きくなり、火口付近が過熱して点火不良や器具の損傷、やけどや火災などの原因となります。

火口より霧状のガスが出る場合は、点火しない
このような場合は点火レバーを「カチッ」と音がする手前まで軽く握り、ガスを 2～3 秒間放出してから離します。出たガスが拡散してガス臭がなくなってから再度、点火操作を行ってください。

炭や薪などの着火以外の用途（草焼きなど）には使用しない
輻射熱などにより器具の損傷の原因となります。

万一、ガス漏れが起こった場合は使用しない
炎によるやけどのおそれがあります。

1人で両手に1台ずつ持ち同時に使用しない
片方のバーナーの炎が、もう片方のバーナーのガスに悪影響を及ぼす可能性があり非常に危険です。

5分以上の連続使用はしない
過熱により故障の原因となります。

使用中、消火直後は火口付近に触れない
火口・火口筒付近は高温になっています。十分冷めるまで触れないでください。

落下させたり強い衝撃を与えたりしない
容器（ボンベ）装着の有無にかかわらず、高いところ（目安として85cm以上）から落下した場合や、強い衝撃が加わったときは、使用中を中止するか、点検修理を依頼してください。

容器（ボンベ）の装着がゆるくなったたり、装着しても固定されずにグラグラするようになった場合は、ただちに使用を中止し、点検修理を依頼するか新しいトーチバーナーに買い替えてください。

容器（ボンベ）を装着したままトーチバーナーを火気や熱源の近くに放置しない
容器（ボンベ）が過熱し爆発するおそれがあり、危険です。

長時間使用しないときは、必ず容器（ボンベ）を取り外す

子供の手が届くところには絶対置かない

改造や分解はしない
故障や事故の原因となります。

■使用容器（ボンベ）の取扱いについて

●容器（ボンベ）に表示されている注意事項をよく読んでから使用してください。
●使用時以外は必ずキャップをしてください。

警告

容器（ボンベ）は必ず「イワタニカセットガス」「イワタニカセットガスパワーゴールド」「イワタニカセットガスジュニア」と表示のある専用容器（ボンベ）を使用する
他の容器（ボンベ）を使用すると、ガスが漏れたり、着火しないおそれがあります。

容器（ボンベ）は火気の近くや直射日光の当たる場所（車や室内の窓際など）に置かない
風通しのよい、湿気の少ない40℃以下の場所で保管してください。

容器（ボンベ）はファンヒーターの前など、熱気の当たる場所に放置しない
熱でボンベの圧力が上がり爆発の原因となります。

容器（ボンベ）は火中に投じない
熱でボンベの圧力が上がり爆発の原因となります。

容器（ボンベ）のガスを故意に吸い込まない
酸欠により窒息死の原因となります。

変形した容器（ボンベ）は使用しない
ガス漏れの原因となります。

完全に使い切ってから、地域の取り決めに従い分別廃棄する
容器（ボンベ）を振ってジャカジャカと音がする場合には、まだガスが残っています。ガスが残っていると清掃車の火災などのおそれがあります。必ず完全に使い切ってから廃棄してください。

注意

容器（ボンベ）に落下など強い衝撃を与えない
容器（ボンベ）の破損によるガス漏れの危険があります。棚など落下しやすい場所に置かないでください。

保管している容器（ボンベ）は、ときどき点検する
錆が発生し始めている場合には、ガス漏れがないことを確認し、できるだけ早く使い切ってください。

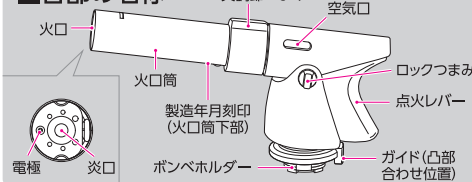
容器（ボンベ）は製造後約7年以内を目安に使い切る

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

（絵表示には次のような意味があります） 警告・注意を促す図記号 必ず行う内容 禁止内容 接触禁止 分解禁止

■各部の名称

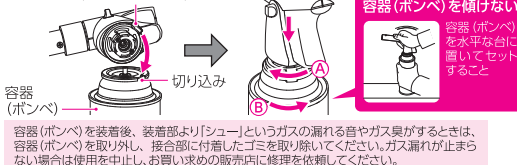


■容器（ボンベ）の取り付け方

取り付ける前にご確認ください

- 周囲に燃えやすいものや火気はありませんか？
- 火口や空気口付近にゴミや異物、脂汚れが付着していませんか？

- 1 ロックつまみを閉める方向へ回します
- 2 容器（ボンベ）のキャップを外します
- 3 ポンベホルダーのガイド（凸部合わせ位置）を容器（ボンベ）の切り込みに合わせて、上から押し込みながら、トーチバーナーを矢印(A)方向に、容器（ボンベ）を矢印(B)方向に、同時に止まるまで（約35度）回します

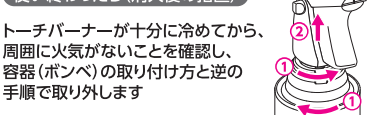


容器（ボンベ）を装着後、装着部より「シュー」というガスの漏れる音やガス臭がするときは、容器（ボンベ）を取り外し、接合部に付着したゴミを取り除いてください。ガス漏れが止まらない場合は使用を中止し、お買い求めの取扱店に修理を依頼してください。

■製品の経年劣化に関するご注意

本製品は気密性を保つためゴム部品が使われていますが、ゴム部品は使用の頻度にかかわらず年月とともに劣化していきます。本製品においては、製造後10年を目安に買い替えをご検討いただけますようお願い申し上げます。●製造年月は火口筒下部に刻印されています。●容器（ボンベ）の着脱回数限度は、3,000回（目安）、点火回数限度は、6,000回（目安）です。

使い終わったら（消火後の措置）



〈保管するときは〉

- 長時間使用しないときは、容器（ボンベ）を取り外してください。
- 周囲に火気や熱源のない場所で保管してください。
- トーチバーナーは火口内に、ゴミや異物、虫などが入らないように箱や袋に入れて保管してください。
- 容器（ボンベ）はキャップをして、周囲に火気や熱源のない風通しのよい40℃以下の場所で保管してください。

このようなときは故障（異常）ではありません

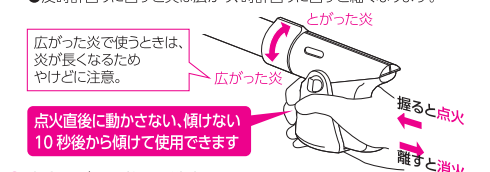
- 容器（ボンベ）が装着できない
ボンベホルダーのガイド（凸部合わせ位置）が装着位置よりずれています。正常な位置に戻してから装着してください。
- 容器（ボンベ）が装着できない
容器（ボンベ）を傾けて装着したり、点火直後にトーチバーナーを傾けたり大きく動かすと、液状のガスが炎口内に入り炎が大きくなることがあります。
- 炎が急に大きくなる
容器（ボンベ）を傾けて装着したり、点火直後にトーチバーナーを傾けたり大きく動かすと、液状のガスが炎口内に入り炎が大きくなることがあります。
- 火力が弱い
容器（ボンベ）の温度が低くなると火力が弱くなります。常温で保管した容器（ボンベ）をご使用ください。また、炎口が詰まると火力が弱くなります。異物を取り除いても改善しない場合は修理を依頼してください。
- 炎が勝手に逆流する
トーチバーナーを落としたときなどに土や草などが詰まると点火不良になったり、炎が逆流する場合があります。危険です。ガス通路にゴミの集まりがある場合も同様に危険です。ガス通路を塞ぐ異物を取り除いてご使用ください。
- 点火しにくくなる
電極と火口筒との間隔がずれると、火花が飛びにくく着火しにくくなります。電極と火口筒との間隔が2～3mmになるよう調節してください。
- 火がすぐに消えない
バーナーを傾けても炎が安定するようにはプレヒートが取り付けられているため、ガス配管が長く、消火するまで時間がかかります。特に、配管内に液状ガスが入っているときは長くなります。（点火レバーから手を離して火が消えるまでに5秒程度かかります）

■点火と炎調節と消火

使用前にご確認ください

- ガス漏れていませんか？
- 容器（ボンベ）は確実に装着されていますか？

- 1 ロックつまみを閉める方向へ回します
- 2 点火レバーを「カチッ」と音がするまで握って点火します
●握っている間、点火し続けます。※点火したことを確認してください。
- 点火しにくい場合（夏場の高温時や新品の容器（ボンベ）使用時）は、炎調節つまみを反時計回りに回して点火操作を繰り返してください。
- 低温時、炎が小さくなる場合は、常温で保管した容器（ボンベ）をお使いください。
- 3 炎調節つまみを回して炎の形を調節します
●反時計回りに回すと炎は広がり、時計回りに回すと細くなります。



- 4 点火レバーを離すと消火します
●ガス臭がなく、完全に火が消えたことを確認してください。
- 5 消火後、ロックつまみを閉める方向へ回します

- 消火させる目的物の上に炎をあててください。
- 上下左右に火口を振る際はゆっくりと動かしてください。急な動きをするとトーチバーナーと容器（ボンベ）の接続部がゆるみ、ガスが漏れて危険です。
- 使用時以外は誤作動防止のため、ロックつまみを閉めてください。
- 脂分など汚れが付いたときは、電極が動かないよう、火口や火口筒が十分に冷めてからその都度汚れを取り除いてください。
- 容器（ボンベ）を交換するときなど火口が熱いうちに取り外す際は、必ず炎が完全に消えていることを確認し、火口に手を触れないよう注意してゆっくり外してください。